

# GAPの取組みについて



2022年10月28日

**コストコホールセールジャパン株式会社**

インポート・ロジスティック部

物流・食品安全・コンプライアンス担当 相川 庸介

# Costco Wholesale (会社概要)

会社名： Costco Wholesale Corporation

本社所在地： Issaquah, Washington

設立： 1983年（シアトルで創業）

事業内容： 会員制小売業

倉庫店数： 839倉庫店（平均13,000m<sup>2</sup>=4,000坪）

従業員数： 約304,000人（日本 約13,500人）

会員数： 約1億1,600万人

売上高： 約2,227億ドル（約32兆2,000億円） 2022年9月決算



倉庫店数	国
578	米国（プエルトリコ含む）
107	カナダ
40	メキシコ
31	日本
29	イギリス
17	韓国
14	台湾
13	オーストラリア
4	スペイン
2	フランス
2	中国
1	アイスランド
1	ニュージーランド
<b>839</b>	<b>合計</b>

群馬県明和町、大阪府門真市、沖縄県南城市など、今後10年で60倉庫店の計画

# GAPの取組み

2012 米国での調達基準にGAP導入を開始

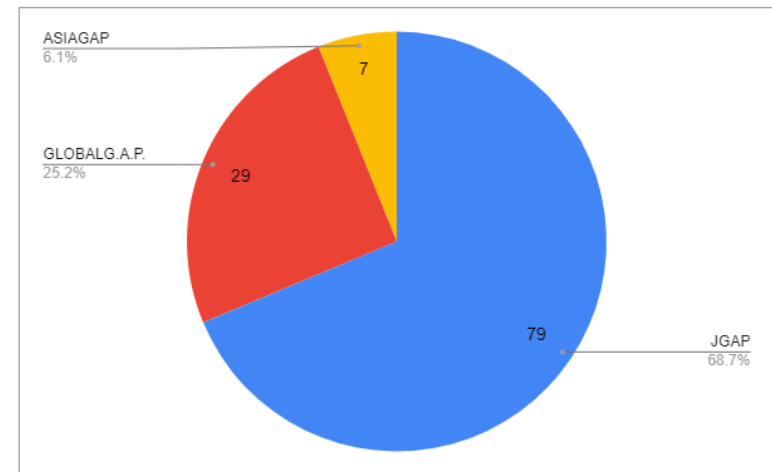
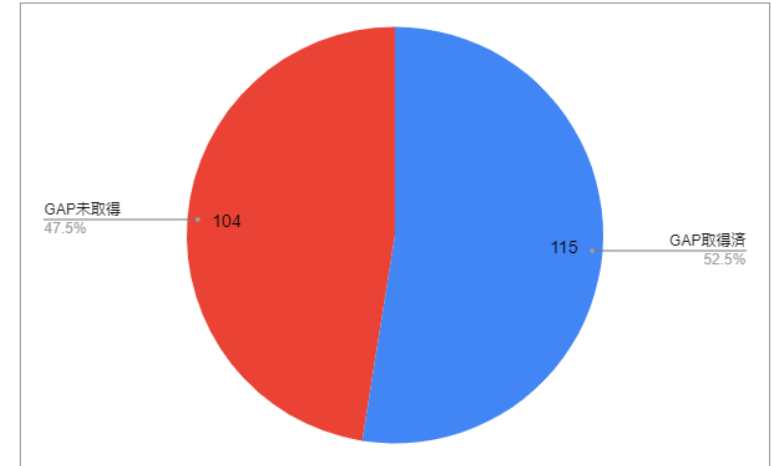
2016 日本での調達基準にGAP導入を表明

- ✓ GFSI認証またはJGAPを受け入れる
- ✓ 2020年までに生産者様との合意形成、GAPに基づく農場管理体制の構築、認証取得への取組みを進める
- ✓ 2021年以降に販売する全ての青果物が認証を取得していることを目指す

2020 GAP認証取得促進の目的で、グローバルマーケットプログラム（ベーシック）を使ったオンライン講習と自己点検プログラムを実施

2022 JGAP青果物2022を使った実地調査整備の予定

国内調達青果物のGAP取得状況（生産者ベース、2022年9月現在）



海外調達青果物はGAP取得100%

## GAPの取組み

### JGAP青果物2022を使った実地調査の概要

目的：食品安全システムが未構築の生産者様への能力育成支援 ～GAPをするきっかけ作り～

対象：JGAPまたはGFSI認証GAP未取得のサプライヤー様が任意で抽出した1選果場・1農場

基準：JGAP青果物2022（最新版）の「必須・重要」の項目から抜粋

実施者：コストコが指定する第三者機関

期限と目標：実地調査は2回（2年）まで。3年目は認証取得を目指す。



# なぜGAPなのか

## 食品安全リスクの増加

- 世界的な健康志向の高まりにより、特に先進国で野菜や果物の消費が増えている

## 社会的責任

- SDGsの広まりにより、持続可能性に配慮した商品を調達する責任が増している
- 環境や人権、労働安全にも配慮することで、生産者、販売者、消費者がそれぞれ利益を享受することができる

生産者のメリット例：工程を見直し生産性が改善、栽培方法を見直しコストを削減、土壌や環境に適した肥料を使用し作物がより健康的に、従業員の事故や怪我の減少など

販売者のメリット例：生産工程を可視化、生産者の管理体制を公平に客観的に評価、有事のトレーサが可能になるなど

消費者のメリット例：より安心安全な作物へのアクセスが可能になる、SDGsに貢献できる

- 企業としての利益を追求しながら、同時に“正しい行いをする（Do the right thing）”という当社の企業方針に、GAP推進は完全に一致する